

## 感染性胃腸炎に注意

冬場の胃腸炎は、ウイルス性でロタウイルスとノロウイルスが多くなります。予防する為には、日頃からこまめな手洗いを行うことが大切です。また、ロタウイルスには、乳児対象の経口予防ワクチンがあります。

### 感染性胃腸炎

症状：潜伏期間は1~2日で、主な症状は嘔吐と下痢です。嘔吐のみ、下痢のみの場合もあります。その他、発熱、腹痛を伴うこともあります。ロタウイルスの場合には米のとぎ汁様の白い便が出ることもあります。

#### <嘔吐物の処理方法>

ノロウイルス・ロタウイルスの場合、感染力が強く、嘔吐物の処理の仕方が適切でないと感染を広めてしまいます。正しい方法で処理をしましょう。

#### ☆用意する物

- ・使い捨て手袋・マスク・あればエプロン（使い捨て・袖つきが望ましい）
- ・ビニール袋・新聞紙やペーパータオル
- ・次亜塩素酸ナトリウム液（ハイターなど）

#### ☆消毒液の作り方

ノロウイルスやロタウイルスは、感染力が強く・石鹼やアルコールにも強い為、家庭にある塩素系漂白（ハイターなど次亜塩素酸と表記してあるもの）を使用しましょう。

500ml ペットボトルに塩素系漂白剤をペットボトルキャップ1杯入れ水で薄めます。  
作り置きはせず、使い切るようにしましょう。

#### ☆消毒の手順

- ①手袋・マスク・あればエプロンをつけます
- ②嘔吐物に新聞紙やペーパータオルを被せて飛び散りを防ぎ、上から消毒液をかけます
- ③嘔吐物を外側から内側に集めるようにして、ふき取ります
- ④③をビニール袋に入れて密閉します（袋内に消毒液を入れます）
- ⑤汚染されたところや周りを消毒します
- ⑥使用済みのマスクや手袋などは、嘔吐物と同様に処理をします

### 家庭でのケア

ウイルス性の場合、特効薬が無い為（水分補給・整腸剤・食事療法）を行います。胃腸を休めて吐き気・下痢が治まってきたら様子を見ながら少量ずつ、まずは水分から摂取していきましょう。胃腸炎の際には、脱水になりやすいので経口補水液も効果的です。便中からもウイルスが排出されるので、便の取り扱いにも注意しましょう。

### 登園の目安

- ・嘔吐・下痢等の症状が治まっていること（普段の食事が取れること）
- ・ご家庭で、普通便（元気な時の便）が確認出来たこと

※胃腸炎の診断を受けた際には、園まで連絡をお願い致します